

## 第4回ヨコヤマカップ帆走指示書



小網代フリートレース (KFR) の帆走指示書に一部追記不要部分を削除したものです。

1、コース：スタートー網代崎灯浮標(赤白ブイ):左に見てー南西ブイ:左にみてー網代崎灯浮標(赤白ブイ):右にみてーフィニッシュ 11.3M スタート及びフィニッシュは小網代湾口付近

※KFR の都合で本部船にコース旗が上がります。コース旗 E

※赤白ブイ位置：網代崎灯浮標 (N35° 10.0' E139° 36.0' 付近)

※南西ブイ位置：城ヶ島沖南西沖漁礁ブイ (N35° 05.5' E139° 32.5' 付近)

2、スタート：2019年10月20日10:25 予告信号の予定

RRS26 に従って行われる。予告信号(クラス旗)には小網代ヨットクラブ旗ならびにヨコヤマカップ旗を使用する。スタート時にVHF 71Ch でリコール艇等の情報を発信する可能性があるが、あくまで本部艇フラッグが優先され、仮にそれが聴取できないからといって救済の対象にはならない。KFR とヨコヤマカップはスタートも同時一斉とする

※早すぎるスタート：OGS に代わるペナルティとしてGTに5%のタイムペナルティを課す。

3、スタートライン：本部艇のJSAF エンサイン旗を掲揚しているマストまたはポールとポート側の端となるマーク(黄色の円筒型ブイ)の見通し線とする。

本部艇の一部または本部艇の近辺にインナーマークを設置する場合がある。その場合、本部艇とインナーマークの間は航行禁止とする。スタートラインの消滅はスタート時刻から20分後とする。

4、フィニッシュライン：本部艇のJSAF エンサイン旗を掲揚しているマスト又はポールとマーク(黄色の円筒型ブイ)の見通し線とする。但し、荒天などにより本部艇によるフィニッシュライン設営が困難な場合はフィニッシュラインを防波堤の延長線とする場合がある。その場合、小網代湾口防波堤上にJSAF エンサインを掲揚する。

5、本部船：JSAF エンサインを掲揚する。白色小型漁船の予定

6、タイムリミット：15:00 までにフィニッシュしなかった艇はDNFと記録される。

7、コースの短縮：コース短縮は、RRS32 に従って行う。網代崎灯浮標(赤白ブイ)で行う場合がある。網代崎灯浮標(赤白ブイ)で行う場合のフィニッシュラインは、網代崎灯浮標と本部艇のS旗を掲揚しているマスト又はポールの間とする。南西沖漁礁ブイではコース短縮を行わない。

8、艇長会議と出艇申告：艇長会議は行わない。

各レース当日の本部艇コミッティへ連絡する場合は、掲示板に掲載された連絡先に行く。

(運営によってはVHF 71Ch にて聴取する場合がある。)

出艇申告書兼乗員登録書は10月18日17:00までにメールまたはFAX(03-3487-6183)に提出する事。以後の変更はメールまたはレース本部に届けること。[yokoyamacup@yahoo.co.jp](mailto:yokoyamacup@yahoo.co.jp)



9、海上確認[DP]：ヨコヤマカップの参加艇はスタートの10分前までに本部船の後方を通過し海上確認を受けなければならない。KFRのみの参加艇はその必要はない。

10、レース旗 [DP]：配布するヨコヤマカップレース旗をバックステー又は船尾付近に掲揚すること。KFRとダブルエントリーの艇はKFR帆走指示書に従いJSAFレース旗も掲載しなければならない。

11、公式掲示板：ヨコヤマカップ公式ホームページを公式掲示板とする。シーボニアヨットクラブ事務局に設置したレース本部にもコピーを掲載する。

12、抗議と救済の要求：抗議と救済の要求は、RRS61、62にしたがって行われなければならない。抗議しようとする艇は最初の妥当な機会に(プロテスト)と声をかけ、目立つように赤色旗を掲揚し、レース終了まで掲揚し続けなければならない。また、自艇のフィニッシュ後1時間以内にプロテスト委員会に書面で抗議書を提出しなくてはならない。FAXの受付はしない。

13、中止等の判断：気象条件等によって、スタートラインが設営できない場合にはレースを中止する。レースの中止等の判断は該当レースの担当コミッティーが行い、その決定に関しての抗議は一切受け付けない。原則として、気象警報(強風、強風波浪)が発令されている場合、台風の接近が予測される場合、また、風速15m/sを超える強風が予測されている場合はレースの中止を検討する。

14、エンジンの使用：自艇又は乗員が危険な状態にあるもしくはなると思われる場合、及び、危険な状態にある人員又は他の船舶を救助する場合には、どのような推進方法を用いてもよい。その後レースに復帰する場合には、レース結果に有利になるような方法を取ってはならない。

15、責任の所在：レースに係わるすべての責任は各参加艇にあり、レース委員会、コミッティーはその企画運営にいかなる責任も負わないものとする。

16、スタートしない艇、リタイアした艇：海上確認を受けスタートしない艇、リタイアした艇、タイムリミット時刻を過ぎフィニッシュしなかった艇は、その旨を直ちにコミッティー(又はレース本部)に報告しなければならない。この報告は艇の責任者が行き、第三者に伝言を託してはならない。

17、安全のためにレース艇の義務と注意：

(1)乗員は出港から帰港まで、有効なライフジャケットを着用すること。※外洋特別規定2018-2019「附則B」5.01.1、OSR国内規定となる。事前の点検を実施する事。 なお、ハーネスおよびジャック

ラインを使用可能な状態とすることを強く推奨する。(各艇の責任において安全性を事前確認すること)。

(2)レース実施海域沿岸には、定置網、生簀(いけす)などの漁業施設が多数現存する。参加艇は事前の水路調査を十分に行うこと。

網代崎の西側は浅瀬があるので、網代崎に近付き過ぎない様十分注意すること。

(3)南西沖ブイ、小網代灯標を回航する場合、付近の漁船、遊漁船に充分ご注意ください。

ヨットレースのためにあるブイではございませんので他船を避ける事。

レース本部 〒238-0225 三浦市三崎町小網代 1286 シーボニアヨットクラブ事務局

レー

本部電話 070-5079-9194

非常用固定電話：046-882-1979(ヨットクラブの電話ですので、レースに関し

ては非常用として以外使用しないでください。通常は本部電話をご使用下さい。)